

事業群評価調書(平成29年度実施)

基本戦略名	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる	事業群主管所属	環境部環境政策課
施策名	(3) 多様な主体が支えあう地域づくりの推進	課(室)長名	山口 正広
事業群名	持続可能な社会の構築のための環境保全活動の促進や環境教育等の推進	事業群関係課(室)	河川課

1.計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)						(取組項目)			
県民一人ひとりが環境保全活動や環境教育等に取り組む社会を構築するため、環境に関する知識の普及や情報の発信、協働事業など、学校、地域社会、事業者などが行う環境保全活動や環境教育等に関する取組を支援する事業を推進します。						)環境アドバイザーや環境学習交流サイト等を活用した環境に関する知識の普及・情報の発信等)県民、事業者、NPO、行政等が連携・協働した環境保全活動の推進)道路、河川等の県管理公共施設の清掃・美化活動を行う団体の活動支援			
指 標		最終目標 (H32)	目標 (H28)	実績 (H28)	達成率	(進捗状況の分析)			
事業群	身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合	75%	70.2%	56.4%	80%	旧総合計画期間中も、平成20年度70%から平成26年度64%と低下傾向にあったが、平成27、28年度はさらに低い56%という結果であった。「取り組んでいない理由」として「情報がない」「参加したい活動がない」「どうしていいかわからない」と回答した人が45%以上いたことから、県民各層のニーズに合った啓発・PRやイベント等の活動を展開する必要がある。 なお、平成29年度は58.6%に微増しており、30才未満の各年代で上昇が見られることから、特に子どもや若い世代への働きかけが効果的である。			
関連指標									

2.28年度取組実績(H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					28年度事業の成果等	中核事業
			H28実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
	H29計画		一般財源	人件費(参考)	H29目標					—	—			
取組項目	環境保全活動推進事業費	H8-	1,900	0	4,021	県民、学校、地域社会、事業者	・環境アドバイザーを学校等へ派遣 ・環境月間街頭キャンペーンの実施	活動指標	アドバイザー派遣回数(回)	70	69	98%	アドバイザー派遣は、申込71件のうち2件が雨天中止となったため目標に届かなかったもので、平成29年度は6月8日時点で23件申込があり、学校や地域団体等での活用が定着しつつある。	○
	環境政策課		3,847	0	8,074			70	—	—				
			791	0	4,021	県民、学校、地域社会、職場	・環境学習総合サイト「環境活動eネットながさき」の運営と、活動情報・イベント情報・人材情報の掲載・情報発信 ・グリーンサポーターズクラブへの会員登録を推進し、会員に対してメルマガにより活動情報等を発信 ・環境保全活動に取り組む団体等の交流会・意見交換会を実施	活動指標	メルマガによるイベント・活動情報発信件数(件/年間)	156	157	100%		
	環境政策課		—	—	—			2,000	2,108	105%				
			—	—	—	2,300	—	—						
	取組項目		県民参加の地域づくり事業費	H15-	9,850	9,850	2,413	県管理公共土木施設の清掃美化活動に取り組む団体へ消耗品の支給と活動時のけがや事故に対応した傷害保険への加入を行い、地域の愛護活動の活性化を図り、行政と県民との美しい県土づくりを推進した。	活動指標	登録団体数(団体)	980	1,008	102%	
河川課		8,498	8,498		2,423	3,150	3,467		110%					
			—	—	—	3,150	—	—						

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

)環境アドバイザーや環境学習総合サイト等を活用した環境に関する知識の普及・情報の発信等 ・アドバイザー派遣は、平成27・28年度とも予定数上限まで申込みがあり、学校や地域団体等での活用が定着しつつある。リピーターが多い傾向が見られるので、今後は新たな利用団体の拡大を図る必要がある。 ・グリーンサポーターズクラブ会員数、メルマガによる情報発信件数ともに目標を達成しているが、今後も継続して会員拡大と情報発信の充実に努める必要がある。
)県民、事業者、NPO、行政等が連携・協働した環境保全活動の推進 ・各地域や異なる分野で環境保全活動に取り組む団体等の交流会・意見交換会を開催したことにより、お互いの活動を知り、共通する課題を認識し議論することができた。 ・今後は、地域や分野ごとに連携協力することによって、課題を解決しながら活動を広げ深めていくための情報共有の場(ネットワーク)のあり方を検討していきたい。
)道路、河川等の県管理公共施設の清掃・美化活動を行う団体の活動支援 アダプト・愛護団体の登録団体数は増加しており、また、活動回数も増えていることから、河川や道路、港湾等における環境保全活動が例年どおり継続されている。当事業については、アダプト・愛護団体との連携により効果的・効率的な環境美化が図られていることから、現在の支援体制を継続する。

4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「-」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目	環境保全活動推進事業費	・eネットながさきHPの改良により、過去のイベント閲覧や写真掲載などができるようにした。 ・子ども向けの環境教育の指導者養成講座を開催する。 ・県北地区と対馬地区で環境教育やESD(持続可能な開発のための教育)に連携して取り組むためのネットワーク会議を開催する。		・子ども(保育園・幼稚園)や若者(高校生・大学生)の環境保全活動を支援する事業の拡大を検討する。 ・国連及び国が提唱するESD(持続可能な開発のための教育)としての環境教育を、教育現場や地域活動と連携して、県内で展開し普及していくための方策を、教育庁など関係機関と連携しながら検討する。	改善
取組項目	県民参加の地域づくり事業費	—	—	当事業を実施することにより、県民の環境維持保全活動への参加機会を確保している。事業の定着により県民の環境に対する意識も高まっており登録団体も増加している。登録団体の増加を図りながら、引き続き当事業を実施することで公共施設等の環境維持担い手の多様化に貢献していく。	現状維持